

広島工業大学の安塚先生にオンラインで講義をしていただきました

令和4年11月7日（月）に機械・ロボット科2年生と3年生が、広島工業大学 工学部 知能機械工学科教授で、量子物理工学研究センター長の 安塚周磨 先生に「暮らしを変える可能性を秘めた超伝導技術」のテーマでオンライン講義をしていただきました。

今回、オンライン講義をしていただいた安塚先生は物性物理学がご専門で、超伝導体の強磁場、超高压、低温下での物理的性質等の研究をしておられます。

講義では超伝導技術の原理や応用例について、大変にわかりやすく説明をしていただきました。超伝導技術は磁気共鳴イメージング診断装置や超伝導リニアモーターカー等にはなくてはならない技術であり、生徒はとても興味をもって受講させていただきました。講義の最後に、「すぐに役に立つ技術開発は、すぐに役に立たなくなる」、「一見して役に立ちそうのない基礎研究こそ、実は本当に役立つ研究」とのお話をお伺いし、基礎研究等に取り組むためにも、高校におけるすべての授業での学びを大切にする必要があることを改めて感じました。

安塚先生、ご多用のところ誠にありがとうございました。

このオンライン講義は生徒に多様な進路選択肢を提供することと、高校での学びを深化させることを目的として、広島工業大学のご協力で今年度から実施しています。また、共同研究や大学見学等にもご協力をいただいております。これらの教育活動をととして、4年制大学の工学部を希望する生徒も増えています。将来、工学部で学んだ皆さんも、「地域産業を担う技術者」として、島根で活躍してくれると嬉しいです。

